

## 現状・課題

独立行政法人教職員支援機構は、教職員研修のナショナルセンターとして、学校教育関係職員の資質向上を図ることを目的に、様々な研修事業等を行っていることから、研修の参加者が安心・安全に研修に専念できるようにするとともに、非常災害時には応急避難場所としての機能を果たせるよう、経年劣化の著しい施設について、早急に必要な改修工事を実施する。

## 事業内容

### ● 第3 宿泊棟空調設備改修工事

平成20年に空調機器を設置して以降16年が経過し、老朽化による故障及び修理部品調達困難等の事情を踏まえ、参加者の研修環境向上のため、宿泊室の空調機器を更新する。



空調室外機（設置後16年）



空調室内機（設置後16年）

### ● 体育館外壁等改修工事

平成10年に改修後27年を経過し、老朽化が進んでいることから、施設の健全性を維持するため、外壁の改修工事及び屋根の防水工事を行う。



劣化の著しい外壁・屋根

### ● 講堂棟等改修工事

講堂及びその共用部分の床・壁の内装及び建具については、平成10年に整備後、改修が行われておらず老朽化が進んでいることから、安心・安全に研修を行うことができるよう改修を行う。また、研修棟のトイレ等についても改修後25年を経過し、老朽化が進んでいることから、衛生環境向上のため改修を行う。



講堂棟内部



研修棟トイレ

### 【スキーム図】



### アウトプット（活動目標）

経年劣化した施設の改修

### アウトカム（成果目標）

- ・研修に専念できる環境づくり
- ・応急避難場所としての機能強化